

2021年5月20日

## 宮城県仙台市の自然あふれる山麓「泉ヶ岳」において キャンプ場・温浴施設を伴う「ワーケーション施設」の整備を開始

日本国土開発株式会社（代表取締役社長：朝倉 健夫、本社：東京都港区赤坂4-9-9）は、宮城県仙台市泉区の泉ヶ岳に保有する自社用地39ヘクタールにおいて、環境に配慮したキャンプ場・温浴施設・コテージ（ワーケーション）施設の整備を進めており、2022年春の開業を目指しています。

当社は、仙台市内における大規模レジャー施設を整備するにあたり、コロナ禍におけるニューノーマルの行動様式の中で、当該施設を仙台市民の新たな憩いの場として、宮城県内をはじめ全国からも誘客し、高い顧客満足を提供する場としたいと考えています。

新たな働き方についても、密を避けるリモートワークが主流になる中で、「大自然の中でリフレッシュしながら働きたい」というニーズが存在すると考え、キャンプ場におけるコテージでの「ワーケーション」やチームビルディングを目的とした利用形態を想定し、東日本電信電話株式会社（NTT東日本）宮城事業部と連携した最新のICT（ローカル5G）の導入や先進的で利便性の高い施設整備を目指すものです。

また、地元行政や観光協会、商工会と連携することで、泉ヶ岳地域のコンテンツを活用した魅力的なツアープランの提供などを通し、利用客の誘致など泉ヶ岳および周辺地域の活性化と共生にも取り組みます。

当社が経営の基軸としている「SDGs」への取り組みにおいては、キャンプ場内のエネルギー循環において、地元間伐材を使用した木質バイオマス発電事業者との連携を検討し、「キャンプ場内のCO<sub>2</sub>排出が全体としてゼロ\*」の実現に向けた日本初のキャンプ場を目指すと共に、災害時にはオフグリッド化をすることで地域の防災拠点としての機能も持たせます。

日本国土開発は「もっと豊かな社会づくりに貢献する」を経営理念に掲げており、人と自然のより良い関係を追及し、快適な生活環境の実現へ向けて、社会の新たなニーズに合った取り組みを進めていきます。

\*二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロを達成することを意味している



設備全体の完成イメージ図

### 当該施設の概要

事業主 日本国土開発株式会社  
住所 宮城県仙台市泉区福岡岳山7番4外  
総面積 7.5ヘクタール  
施設規模 キャンプ場25区画、コテージ4棟、  
フリーサイト(約92サイト分)  
収容人数 500人(最大)  
付属設備 温浴施設(温泉)兼管理棟  
プレオープン 2021年秋を予定  
グランドオープン 2022年春を予定

※2021年5月現在の予定

MOVE EARTH,  
MOVE EVERYTHING



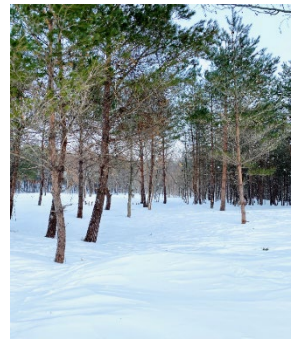
KOKUDO

## <参考資料>

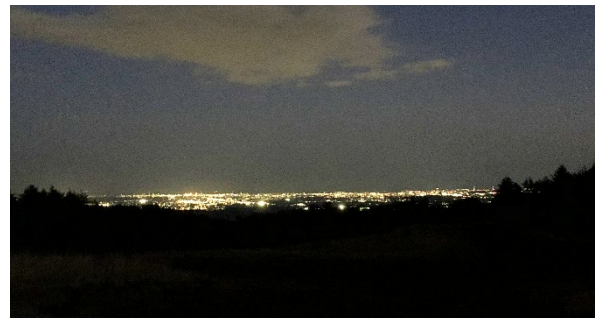
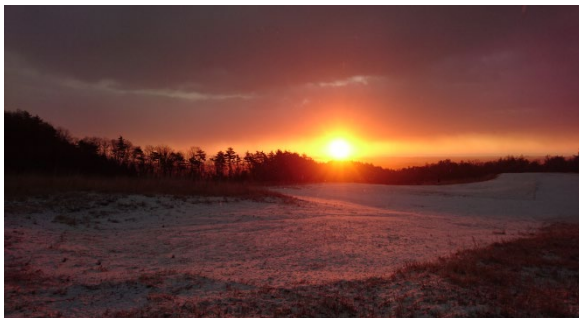
当該施設がある「泉ヶ岳」は、宮城県仙台市泉区にある標高1,175メートルの山麓で、豊富な湧き水が、周辺の池や川を育んできたことからその名称が付いたと言われています。泉ヶ岳は、春や夏は日帰り登山やピクニック、秋には紅葉を楽しむことができ、冬は南東斜面にある「泉ヶ岳スキー場」、北東斜面にある「スプリングバレー泉高原スキー場」が整備されており、仙台市民のレジャースポットとなっています。

当社が整備中の施設は、県道泉ヶ岳公園線と泉ヶ岳の北西から南東に流れる清川の間位置し、仙台市街から車で40分の場所に位置しています。自然あふれるこの地に、環境に配慮したキャンプ場・温泉施設・コテージを整備し、ワーケーションを可能にする施設となります。

## ◆施設内の様子



小川や林間を散策してリフレッシュでき、自然の中にあるコテージでワーケーションが実現できる



コテージや温泉施設エリアからは、太平洋からの日の出や仙台市街地が一望でき、夜景も楽しめる

公式Instagram β版(ユーザーネーム:hygge\_izumigatake)では、順次情報を発信しています。

以上

この件に関するお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 経営企画部 電話 03-5410-5720